

学校だより 「'11まかべ」

第11号
2011（平成23）年6月17日
糸満市立真壁小学校

6月7日（火）にプール開きを実施

プール学習が始まりました。

6月1・2日（水・木）は4～6年でプール清掃→



6月7日にプール開きを行いました。体育主任からの諸注意、児童による模範泳ぎなどが行われました。模範泳ぎでは、ドル平やクロール、平泳ぎに加えて、バタフライの泳法も紹介され、児童らの注目を集めたものです。

その後、校長と児童とで安全祈願を行いました。子どもたちの安全と充実したプール学習を心を込めて祈願しました。その内容などを紹介します。

■プール開き 「自分の目標をもって」



1学期のまとめの作文には、プール学習に係ることが多く登場してきます。「はじめは出来ないものと思っていた25mを泳ぎ切ったこと」「テストで目標が達成できなかった悔しさをバネにして、最後のテストで力の限りを尽くして、ついに泳ぎ切った」等々のように。

児童のプール学習に対する期待が大きいのは分かっています。体育主任からは、児童の気を引き締めるように「安全に十分に留意し、自分の目標を持ってプール学習が出来るように」と、緊張感を持った姿勢を促していました。

■安全のうがん

「天の神様、地の神様、水の神様。今日から真壁小学校の子どもたちがプール学習を始めます。子どもたちを様々な災いから守り、安全に楽しく学習出来るよう、お守りください。よろしくお祈りします。」

左上の内容で「うがん」をしました。子どもたちに「うがんの内容を聞いたことがありますか？」と尋ねたら、「聞いたことがない」とのことです。それで、



声に出して子どもたちにも聞いて貰いました。

はじめは方言でのうがん。その後左上の言葉で。勿論、プールの4隅に、お塩とお米、そしてお酒のお供えもしました。きっと安全で充実したプール学習になると信じています。

■模範の泳ぎ

田中隆太郎さんがドル平泳法を、金城安里さんが平泳ぎ、金城沙耶さんがクロール、大城晴河さんがバタフライのそれぞれの模範泳ぎを披露してくれました。プール学習の主なねらいは、「安全を守る力をつけること」と「長く泳ぎ続けること」です。自分の目標を決めて、有意義な学習にしたいと思っています。



プール清掃は、4～6年の高学年で行いましたが、本島を直撃した猛烈な台風2号が過ぎ去った直後の作業でした。

周りの木々の葉っぱが大量に水中に浮かんでいたり、沈んでいたりしていました。更に、運動場などから巻き上げた土砂も、大量に水底にたまっていたものにはまいりました。

上2枚の写真で分かるように、水底は“汚れた水”というより“たまっている土砂”でした。スコップやゴミ取りですくい取り、バケツや一輪車で外に運び出す作業から始めたのでした。それはまるで、田んぼの中で作業しているような状態だったものです。



たまった泥を取り除き、ようやくプール底の青い面が見えたのは、掃除を始めてから1時間後でした。それから本格的な、プール底にこびりついた青のり落としです。たわしやスカッチブライトを使っての、力と根気の要る、高学年にしかできない作業です。

プールサイドも、1年間の汚れで黒ずんでいました。高速洗浄機を駆使して、職員が交代で落とししていきました。

【PTA作業への参加…ありがとうございました】

6月12日はPTA作業でした。主な作業内容は、旧校舎に残っている棚などの不要品の運び出しです。旧校舎の作りは、棚関係が備え付けられておらず、別途に棚を置いてあるのです。

ところが新校舎は、どの部屋にも備え付けの棚があります。そのために、別途にスチール棚や木棚を設置する必要がありません。それらの棚が古くなり、錆がひどかったり、破損したりしていることもあり、処分するための作業でした。

6年生及び職員を含めると、約120名もの人数での大がかりな作業となりました。お陰さまで計画通りに終えること出来ましたことをお礼申し上げます。ありがとうございました。

